**第１号議案**

**２０21年 度 事 業 報 告**

2021年6月9日付第18回通常総会で決定された「2021年度事業計画」に基づき実施した事業について下記のとおり報告いたします。

**Ⅰ．2021年度基本方針**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりをサポート**

**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

**Ⅱ．組織の概況について**

**１．会員数**

 　昨年度末計109事業所となり、5事業所減となった。

（2022年３月３１日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **区　　分** | **2020年度末** | **2021年度末** | **増　　減** |
| 一般会員 | Ａ　会員 | 17 | 15 | 2事業所減 |
| Ａ’会員 | 10 | 10 | 0 |
| Ｂ　会員 | 17 | 17 | 0 |
| Ｃ　会員 | 44 | 41 | 　　　　3事業所減 |
| 特別会員 | 3 | 3 | 0 |
| 準 会 員 | 23 | 23 | 0 |
| **計** | **114** | **109** | **5事業所減** |

　　　　（注）　　　　【一般会員】

Ａ　会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員並びに組合員

Ａ’会員：冷凍めんの製造を行わない全麺連傘下会員

Ｂ　会員：冷凍めんの製造販売を行う全麺連傘下会員並びに組合員

　　　　　　　　　　　　　　　Ｃ　会員：その他、冷凍めんの製造販売を行う企業

　　　　　　　　　　　　　　　【特別会員】　理事会において定める企業

　　　　　　　　　　　　　　　【準会員】 冷凍めんに関する機器資材企業

**２．役員数**

理　事　１4名（会長１名、副会長５名、専務理事１名、理事7名）、監　事２名

**３．役員名**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（所属会社の役職名は2021年7月1日時点）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **役　　員　　名** | **氏　　　名** | **所　　　　　属** |
| 会　　　　長 |   | テーブルマーク株式会社　代表取締役社長 |
| 副会長・会長代行 | 　　 | 株式会社キンレイ　取締役副社長 |
| 副　会　長 | 　　 | シマダヤ株式会社　常務取締役 |
| 同 | 　　 | 全国製麺協同組合連合会　会長 |
| 同 | 　　　 | 日清製粉株式会社　常務取締役 |
| 同 | 　　　　 | 株式会社　　ニップン常務執行役員　製粉事業本部長 |
| 専務理事 | 　　 | 一般社団法人 日本冷凍めん協会　常勤 |
| 理事・会計担当 | 　  | 東洋水産株式会社　低温食品部　部長 |
| 同 | 　　 | フレッシュ・フード・サービス株式会社　取締役社長 |
| 理　　　　事 | 　 | 日清食品冷凍株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　 | 西山製麺株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　 | マ・マーマカロニ株式会社　社長補佐役 |
| 理事・相談役 | 　　　 | オリエンタル酵母工業株式会社　特別顧問 |
| 理事・相談役 | 　　 | 全国製麺協同組合連合会　前会長 |
| 監　　　事 | 　　　 | 日本リッチ株式会社　代表取締役社長 |
| 同 | 　　　　 | 堀敬祐公認会計士・税理士事務所　所長 |

**Ⅲ．主な会議、委員会等の開催と審議事項**＊前年に引き続きコロナ禍で集まっての会議が実施できない状況の協会運営であったが、書面やリモート開催にて同意の意思表示を確認した。

**１．通常総会**

第18回定時通常総会　2021年6月9日　書面決議

第１号議案から5号議案承認可決。

（１）第１号議案　2020年度事業報告の件

（２）第２号議案　2020年度決算報告の件

（３）第３号議案　2021年度事業計画報告の件

（４）第４号議案　2021年度収支予算報告の件

（５）第５号議案　役員一部改選の件

**２．理事会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **実施年日** | **内　　　　　　容** | **場　所** |
| 第 1 回 | 2021.5.19 | 1. 2021年度第18回通常総会の議案書の承認
 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |
| 1. 第2回理事会の開催について
 |
| 1. 日本赤十字社表彰申請について
 |
| 1. 総会後の登記に関する説明
 |
| 第 2 回 | 2021.6.10 | 1. 2021年度第18回通常総会6月9日（書面決議）の報告
2. 新代表理事（会長）の選任と承認
3. 2021年度新任理事の役職決定と承認
 | AP東京八重洲口12階　会議室Fにてリアル＆リモート会議 |
| 第3回 | 2021.9.29 | ①　2021年度施策の中間報告（技術委員会、情報委員会施策）②日本赤十字社より、金色有功彰、厚生労働大臣感謝状受賞の報告 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |
| 第4回 | 2022.1.26 | 1. 2021年度施策、RMKマーク申告等の結果報告
2. 次期専務理事の雇用についての承認
3. 現専務理事の再雇用についての承認
 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |
| 第5回 | 2022.3.23 | ①2022年度施策及び予算の承認②ウクライナ侵攻への人道支援の承認 | 全麵連会館4F会議室よりリモート開催 |

**３．監査会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **実施年日** | **内　　　容** | **場　所** |
| 2021.5.19 | 1. 2020年度事業報告、財産目録、貸借対照表および損益計算の監査
 | 全麺連　会館4Ｆ会議室 |
| 1. 2020年度事業活動の監査
 |

**４．技術委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内　　　　容** | **場　所** |
| 第1回 | 2021.4.7 | 1. 2021年度の委員会施策・予算案の確認と検討
 | リモート会議 |
| 1. RMK認定工場監査について
 |
| 1. eラーニング、勉強会等について
 |
| 1. その他情報委員会施策、社会貢献等について
 |
| 第2回 | 2021.7.7 | 1. 2021年度RMK認定工場訪問工場監査の進捗
 | リモート会議 |
| 1. 製品検査の実施状況について
 |
| 1. WEB勉強会の意見出し
 |
| 1. 情報委員会施策の進捗
 |
| 1. その他
 |
| 第3回 | 2021.10.6 | ①RMK認定工場監査の中間報告 | リモート会議 |
| ②夏場の製品検査結果 |
| ③北海道研修の検討 |
| ④情報委員会施策進捗 |
| ⑤その他、日本赤十字社表彰等の報告 |
| 工場監査打ち合わせ会 | 2021.12.7 | ◎技術委員会事務局と監査員リーダー（㈱知識経営研究所）との2021年度監査報告会及び来年度の監査について | リモート会議、 |
| 1. 2021年度工場監査進捗報告
 |
| 1. 訪問工場監査についての報告と意見交換
 |
| 1. 2022年度の工場監査の方向性
 |
| 第4回 | 2022.2.4 | ◎2022年度の具体的な施策検討 | リモート会議 |
| 1. RMK認定工場監査2022年度の方向性の検討
 |
| 1. 2022年度のeラーニングの進め方について
 |
| 1. 2月実施の勉強会について
 |
| 1. その他
 |

**５．情報委員会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **内　　　　　　容** | **場　所** |
| 第1回 | 2021.4.14 | ◎2021年度施策、予算について | リモート会議 |
| 1. 協会インスタグラム開設とそれを使ってのレシピコンテスト
 |
| 1. 料理サイト「Nadia」を使ってのレシピコンテスト発信
 |
| 1. 飲食店業界への支援施策の意見出し
 |
| 1. レシピ開発と冷凍めんカレンダー作成、プレゼント企画
 |
| 1. 6月実施WEBセミナーについて、講師候補者、テーマについて
 |
| 第2回 | 2021.7.14 | ◎2021年度施策の進捗報告・確認 | リモート会議 |
| 1. レシピコンテスト第1期の応募状況
 |
| 1. インスタグラム広告での発信状況
 |
| 1. Nadiaサイトでのスケジュール
 |
| 1. 飲食店支援施策の意見出し
 |
| 1. その他レシピ開発等の進捗、10月WEBセミナー講師について
 |
| 第3回 | 2021.10.13 | ◎2021年度施策の進捗報告及び次年度施策検討 | リモート会議 |
| 1. 第1期レシピコンテストの結果報告と第2期の応募状況
 |
| 1. Nadiaサイトでの発信状況
 |
| 1. 協会HPへのアクセス状況中間報告
 |
| 1. その他、冷凍めんの日のロゴ商標権の更新登録について等
 |
| 第4回 | 2022.2.9 | ◎2021年度活動の報告及び2022年度活動検討、意見出し | リモート会議 |
| 1. 第2期レシピコンテスト結果報告、第3期の進捗
 |
| 1. 協会HP一般サイト、会員サイトのアクセス状況の報告
 |
| 1. 冷凍めんカレンダーのプレゼントキャンペーン報告
 |
| 1. 2022年度施策案に対する検討
 |
| 1. その他
 |

**Ⅳ．2021年度基本方針および具体的な施策の実施内容**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりをサポート**

（１）工場監査の実施

**①2021年度は、不適合となった工場はなかった。**

**＊監査結果Aランク40工場、Bランク4工場、Cランク0工場**

②工場監査：訪問43、WEB1、2回工場監査3工場訪問

（２）製品一斉検査事業について

**①製品検査は、夏季（7～8月）と春季（2月～3月）に実施し、その内容については全てフィードバックした。**

検査内容：一般生菌数、大腸菌群、Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌

：食味、形態、重量

**＊2021年（7～8月）の検査結果**

・44事業所、111検体

**・****一般生菌数は1×103cfu/ｇ未満が76検体（68.5％）、基準内ではあるがやや菌数の多い製品が35検体、**大腸菌群の陽性は11検体生めん及び具材付き調理めんが主であった。**夏場のラインの衛生状態としては良好であった。**

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・重量に関しやや過重のものが2検体あった。

・食味、形態、及びサンプルへの異物混入なく、問題はなかった。

**＊2022年（2～3月）の検査結果**

・42事業所、108検体

**・一般生菌数は1×103cfu/ｇ未満が83.3％、基準内ではあるがやや菌数の多い製品が18検体、**大腸菌群の陽性は5検体（生めん3検体）であった。**ライン衛生状態は良好であった。**

・Ｅ,Ｃｏｌｉ、黄色ブドウ球菌はすべて陰性であった。

・内容量がやや過重製品が3検体であった。

・その他項目（包装、形態、色沢、風味、食味性組織、その他）は問題なかった。

　　（３）ＲＭＫ認定工場等会員工場支援

①（公社）日本食品衛生協会研修、㈱ラキール農水省支援事業の研修等情報提供

＊研修実習はコロナ禍で中止した。

**②eラーニングのRMK認定工場への提供（利用は22工場）**

**＊製麺業独自の教育視聴アニメを月1本、合計12本作製した。**

**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

（１）WEBを通じRMKマーク、協会品質保証システムの認知度の向上を実施した。

①協会公式インスタグラムを立ち上げてのレシピコンテスト

第1期『冷凍めんを使った夏に食べたいレシピ』2021年6月1日～8月31日

・応募総数289件

第2期『冷凍めんを使った楽々レンチンレシピ』2021年9月1日～11月30日

・応募総数103件

第3期『冷凍めんを使ったおもしろアレンジレシピ』2021年12月1日～22年2月28日

・応募総数86件

＊冷凍めん協会レシピコンテンツの開催もあり、協会ホームページへの訪問回数65073（前年対比194％）、訪問者数58225（前年対比198％）と約2倍となった。

＊コロナ禍の冷凍めんニーズ、冷凍めんレシピのニーズの高まりもあり、「冷凍めんの美味しい食べ方」へのアクセス数が10769と2020年より2000以上増加した。

＊結果等々、協会ホームページ会員サイトに掲載した。

（２）協会HP施策

1. 冷凍めんカレンダー(2022年)の配布とプレゼント企画

＊2022年カレンダー250名様へプレゼントは2520件の応募があった。

1. インスタグラムレシピコンテスト、Nadiaサイト、マイナビサイトでの発信によりRMKマーク等の認知アップ

③会員への情報発信（農林水産省等からの情報を常に発信）

（３）業界紙、関係団体協賛広告等での成果の上がる協会アピールを行った。

（４）調査等

①冷凍麺生産者に対する調査2021年分（2021年1月～12月）まで（市場規模調査）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **業務用（千食）** | **市販用（千食）** | **合計（千食）** | **前年比（％）** |
| 2015年 | 983,973 | 699,932 | 1,683,905 | 104.9 |
| 2016年 | 938,192 | 790,160 | 1,728,353 | 102.6 |
| 2017年 | 967,436 | 826,246 | 1,793,683 | 103.7 |
| 2018年 | 956,284 | 857,133 | 1,813,417 | 101.1 |
| 2019年 | 970,518 | 881,714 | 1,852,232 | 102.1 |
| 2020年 | 883,490 | 1,125,947 | 2,009,437 | 108.5 |
| 2021年 | 809,303 | 977,395 | 1,786,698 | 88.9 |

＊2021年は40企業の協力を得た調査となった。

結果は協会ホームページ会員サイトに掲載

②RMKマーク申告数2021年度分（2021年4月～2022年3月）まで

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **業務用（千食）** | **市販用（千食）** | **合計（千食）** | **前年度比（％）** |
| 2015年度 | 665,042 | 541,949 | 1,206,992 | 99.6 |
| 2016年度 | 670,213 | 549,553 | 1,219,766 | 101.0 |
| 2017年度 | 687,326 | 546,508 | 1,233,871 | 101.1 |
| 2018年度 | 726,049 | 505,972 | 1,232,022 | 99.8 |
| 2019年度 | 698,607 | 538,798 | 1,237,406 | 100.4 |
| 2020年度 | 561,033 | 642,243 | 1,203,277 | 97.2 |
| 2021年度 | 572,547 | 680,222 | 1,252,770 | 104.1 |

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

（１）冷凍めんの表示に関する公正競争規約制定に向け消費者庁とやり取り、生めんの

公正取引協議会との内容議論が必要であったが、リアルで会合が出来ないため延期した。

* 1. 食品ロス削減に向け協会としての取り組み

＊賞味期限年月表示の推奨を決定したが、コロナ禍で残る課題解決が進まず、発信は

延期した。

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

（１）勉強会

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **開催日** | **講演内容　・　講師** | **開催場所** | **参加数** |
| 第39回 | 2022.2.16 | ・第一講演（60分）　　　　　　　　　　　　　　　　　 ＜13：35～15：00＞『食品企業向け省エネ・CO2削減に関する基礎研修』株式会社知識経営研究所　パートナーコンサルタント　大西 義人氏[休憩　10分]・第二講演（60分） 　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　＜15：10～16：30＞『脱炭素社会実現に向けた産業用冷凍機と冷媒の動向について』株式会社前川製作所　商品開発企画センター　深野 修司 氏事業推進室　　　　　　大島　潤 氏食品部門 営業Ｇ　　　 藤垣 則仁 氏 | WEB開催 | 49デバイス、139名 |

（２）セミナー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開催日** | **講演内容　・　講　師** | **開催場所** | **参加人数** |
| 2021.6.10 | ＜14：10～15：40＞『ＳＤＧｓ入門　～ＳＤＧsと日本の未来～』 　慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授　岸　博幸 氏 | WEB開催 | 63デバイス、236名 |
| 2021.10.19 |  ＜13：35～15：00＞『逆・タイムマシン経営論』～同時代性の罠～ | WEB開催 | 52デバイス、254名 |
| 　一橋ビジネススクール 国際企業戦略選考 教授　楠木　建 氏 |

（３）研修旅行

**＊コロナ禍で中止した。**

**５．社会貢献**

　1）ウクライナへの人道支援として国連WFPへ300万円寄付

＊ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し、小麦の産地でもあるウクライナに対する人道支援を理事会で決定、日本の食品関連企業が10億円を目標に国連WFPで緊急支援金を募集していたので、最終的に国連WFPへの寄付を決定した。





**監　査　報　告**

一般社団法人 日本冷凍めん協会

会長　吉岡　清史　殿

2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１、監査方法及びその内容

私は理事との意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に関わる事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）について検討いたしました。

２、監査結果

（1）事業報告等の監査結果

　一　事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

　二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2022年5月19日

一般社団法人 日本冷凍めん協会

監　事　 宮 田　精 久

監　事　 堀 　　敬 祐

**第３号議案**

**２０２２年度事業計画**

一昨年より世界を揺るがしている新型コロナウイルス感染症は、遺伝子変異を繰り返すことで感染の蔓延が続き、未だ先行きが不透明な状況です。また、想定外のロシアによるウクライナ侵攻で、政情不安や経済の混乱が全世界に広がっております。

原油価格の高騰により、石油製品を始め、食料品や輸送費等、全てのものが値上がりし、さらにその確保も難しくなる様相となっています。

本年もますます厳しい事業環境が予想される中ですが、各会員企業におかれましては、原料、資材、エネルギー関連物資の確保に対応しつつ、食品を安定的に市場に届ける使命を持って、日々生産に当たって頂いていることと思います。

こうした環境下ではありますが、冷凍めんの生産量は2020年度には20億食を突破し、食品業界からの供給期待は益々大きくなっているものと考えております。

このような状況下、今年度の事業計画としては、以下の重点施策を実施することで、冷凍めん業界がさらに消費者の信頼を得られるよう、安全で安心な商品づくりをサポートしてまいります。

現在、ＲＭＫ認定工場の内、約77％の工場がFSSC22000等の第三者認証を取得しており、当協会としても、ＦＳＳＣ２２０００のバージョンアップに対応した「冷凍めん工場の品質保証体制に関する指針」に基づき工場監査を実施してまいります。

工場監査については、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度の工場監査は年1回とし、かつ一部の工場ではWEBでの工場監査といたしました。

2022年度は、コロナ前の監査体制に戻し、実訪問での監査の実施と、必要に応じての年2回の監査も実施する予定です。

また、法・政省令改正や新型コロナウイルス感染症関連情報等、重要な情報の提供を、協会HPの会員サイトを通じ、今まで以上に積極的に発信してまいります。

全会員様向けWEBセミナー及び勉強会を可能な限り実施するとともに、業界独自の教育ツールとして、「e-ラーニング」の充実を図ってまいります。

次に、冷凍めん、およびＲＭＫマークの価値向上と認知度向上を目指す施策として、『ＷＥＢプロモーション』と『協会HP』を利用し、コロナ禍で消費が伸びた市販用冷凍めんの一層の浸透と定着を図ってまいります。

一方で、大きく落ち込んだ業務用冷凍めんの回復に向けては、飲食店への一助となる支援を含めた広報活動を実施してまいります。

加えて、昨年コロナ禍で進めることができなかった「冷凍めんの表示に関する公正競争規約」の制定に向けた取組みを進めます。また、賞味期限年月表示および期限設定根拠係数の推奨を発信してまいります。

今年度上記施策を実施してまいりますが、環境は日々変化していくものと見ており、その変化を機敏にとらえ、スピード感を持って協会運営を進めてまいりたいと思っております。

関係各位のご支援・ご協力、引き続きよろしくお願い申し上げます。

以　上

**◎基本方針および２０２２年度具体的な施策**

**［基本方針］**

**冷凍めんの安全・安心・おいしさを保証するための総合的な取り組みと、冷凍めんの価値を広く訴求する事業、更には会員企業への様々な支援を行うことで、冷凍めん業界の発展に寄与する。**

**１．消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりのサポートを行う。**

1. RMK認定工場の工場監査

＊コロナ感染防止策として抗原検査等を監査員に追加依頼し安全・安心に努める。

＊2022年度ＲＭＫ認定41工場、2022年12月までに1回目実施する。

（２）製品検査

＊年2回全RMK認定工場生産品にて検査する。

＊RMK認定工場ライン等の衛生状態確認や工場検査精度確認に利用する。

＊公益社団法人日本食品衛生協会へ委託する。

（３）ＲＭＫ認定工場等会員工場支援

＊eラーニングのRMK認定工場への提供、及び利用率向上を目指す。

＊製麺工場独自の教育視聴アニメをさらに作製進める。

＊研修、実習等への支援

＊その他、会員支援の検討

**２．ＲＭＫマークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動**

（１）WEBを通じてのRMKマーク、協会品質保証システムの認知度を向上さらに目指す。

＊昨年に引き続き、協会インスタグラムを開設、料理サイト「Nadia」を使用しての消費者向けレシピコンテストを実施、冷凍めんの市販用の増加の定着を図るとともに、RMKマークの認知度、協会の安全、安心への取り組みをアピール。

＊WEBを使っての業務筋向けのプロ対象のレシピコンテスト実施。

（２）協会HP施策

＊冷凍めんカレンダー(2022年)作成とプレゼント企画を実施する。

＊官公庁等からの関連情報等会員への発信強化する。

＊スマホからのアクセスの大幅増加に対応するホームページ改善改修を検討する。

（３）業界紙、関係団体協賛広告等でのRMKマークの安全・安心をアピールする

（４）調査：冷凍麺生産者に対する調査2022年分（市場規模調査）

**３．会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開**

（１）冷凍めんの表示に関する公正競争規約制定に向けて活動を継続する。

　＊生めん公正取引協議会との冷凍めんの規約内容を協議する。

（２）賞味期限年月表示推奨の課題解決と発信を実施する。

**４．業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動**

（１）2022年WEB開催での聴講率が高いことからWEB勉強会を実施する。

＊食品ロス等々、環境問題への具体的取り組み

＊具体的な食品ロス取り組み実施企業事例報告

＊衛生管理、生産関連技術について

＊「改正食品衛生法のへの対応」（ＨＡＣＣＰ以外に必要な内容）

（２）2022年10月にWEBセミナーを実施する。

＊勉強会同様、多くの会員様に聴講頂けることからWEBセミナーを選択。

（３）2022年6月に研修旅行を実施する。

＊2022年6月21～23日北海道農研機構北海道小麦等の研修を実施

・コロナ禍の状況によっては中止の可能性あり。



**第5号議案**

**役員改選の件**

**１．改選理由**

　　　＊　任期満了（2年任期）に伴う理事改選

　　**２．理事候補者名**（役職は2022年5月19日現在）

吉岡　清史（よしおか　きよし）

（テーブルマーク株式会社　代表取締役社長）

白潟　昌彦（しらかた　まさひこ）

（株式会社キンレイ　代表取締役社長　6/24付）

　　　岡田　賢二（おかだ　けんじ）

　　　　　　　　　　　　　　　　　（シマダヤ株式会社　専務取締役　）

伊勢　英一郎（いせ　えいいちろう）

（日清製粉株式会社　常務取締役　営業本部長6/28付）

　　　木村　富雄（きむら　とみお）

　　　　　　　　　　　　　　（株式会社ニップン　上席執行役員　製粉事業本部長　）

鳥居　憲夫（とりい　のりお）

（全国製麺協同組合連合会会長）

　　　道添　秀樹（みちぞえ　ひでき）

　　　　　　　　　　　　　　　　　（フレッシュ・フード・サービス株式会社　取締役社長）

上和田　公彦（かみわだ　きみひこ）

（日清食品冷凍株式会社　代表取締役社長）

及川　俊則（おいかわ　としのり）

　　　　　　　　　　　（マ・マーマカロニ株式会社　取締役社長）

斎藤　和巳（さいとう　かずみ）

（東洋水産株式会社　　低温食品部　部長）

西山　隆司（にしやま　たかし）

　　　　　　　　　　　　　　　　 （西山製麺株式会社　代表取締役社長）

　前場　敏男(ぜんば　としお)

　　　　（全国製麺協同組合連合会 元会長、現理事）

桑山　和基（くわやま　かずもと）

　　　　　　　　　　　　　　　　 （日本冷凍めん協会　常勤）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計　13名

**第6号議案**

**監事改選**

　**１．改選理由**

　　＊所属企業での異動に伴う一部改選

　**２．監事候補者名**

　　奥　能理士（おく　のりお）

　　　　　　　　　　　（日本リッチ株式会社代表取締役社長6/15日付）